

“新緑の季節”がやってきた

自然豊かなスポットで、心も体もリフレッシュ

身近な場所で“森林浴”を楽しむ

5月は新緑の季節。市内には公園や緑地、水辺空間といった自然に触れ合えるスポットがたくさんあります。やわらかな日差しの中で、身近な自然を散策しにでかけてみませんか。 図 ☎712-8632広報聴課



まるで“市川市の尾瀬”

湧き水が豊富に出て湿地を形成。長田谷津では約400種の植物、湿地には100種程度の植物が生育しています。これからの季節、薄紫色の可憐なムラサキシキブの花が咲き、夏になると体長10cm以上にもなる日本最大のトンボ、オニヤンマが谷津を飛び交います。

長田谷津散策会

☎5月14日(日)午前10時(動物園券売所前集合)～11時30分(荒天中止)
場 長田谷津(大町公園)
☎☎339-0477自然博物館

貴重な自然の宝庫 大町公園 自然観察園

休耕田になっていた長田谷津の自然を残そうと昭和48年に生まれたのが、自然観察園です。約1kmにわたり、緑濃い斜面林に囲まれた谷が続いています。



▲大温室



▲サボテン温室



▲子どもに人気の「恐怖の食虫植物コーナー」



▲右奥が大温室

一步踏み入れば、ジャングル

大町公園 観賞植物園

観賞植物園には大温室とサボテン温室があり、年間を通して約200種約2,400本の熱帯植物・亜熱帯植物と約150種約1,000本の多肉植物・サボテンを、無料で見ることができます。

図 ☎339-4411観賞植物園

約200種の熱帯植物がずらり

ドリアン、カカオ、コーヒー、アセロラ、マンゴーといったメジャーな植物はもちろん、熱帯の食虫植物や青い花が咲くヒスイカズラといった珍しい植物も多数植えられています。実がなっているパイナップルも間近で見ることができます。



▲ヒスイカズラ



▲実がなったナビヤ



▲ムサ・ウェルティナ(別名ピンクバナ)

自然に囲まれた開放的な公園

国分川調節池緑地

国分川と春木川の洪水を防ぐために整備された治水施設ですが、平常時は公園として利用でき、ウォーキングなどが楽しめる散策・休息広場や池を眺望できる観察デッキがあります。池はダイサギやアオサギなど野鳥の生息地となっています。



▲開放的なロケーション

春を告げる鳥ヒバリ

緑地内を散策していると、草の陰からヒバリが飛び出してくることもあります。



▲ビーツル ビーツル



歴史ロマンを感じながら森林浴

里見公園 4-5面で特集

国府台城跡に整備された、桜とバラの名所として知られる里見公園。土塁跡には雑木林が広がっています。



▲望遠鏡や双眼鏡は無料で貸し出し



▲あいねすとへと続く新緑が美しい一本道

野鳥の楽園

あいねすと(行徳野鳥観察舎)

あいねすと2階には観察スペースがあり、眼下に広がる自然を眺めることができます。約600mにわたる観察路、みどりの国もおすすです(みどりの国は土・日曜、祝日開園)。

毎月ミニ観察会を実施しています

あいねすとを中心に、丸浜川沿いを散策するプログラムです。行徳近郊緑地にすむ生きものをあいねすとの専門員が解説します。都会の中の身近な自然を五感で感じてみませんか。

☎5月6日、13日、27日、いずれも土曜日午後1時30分開始(60分程度、雨天中止)
☎当日午後0時30分よりあいねすと受付で直接申し込み
☎☎702-8045あいねすと(行徳野鳥観察舎)

住宅街のオアシス

小塚山公園 市民の森

北国分に残る約2.7haの自然林。コナラ、クヌギ、イヌシデなどの落葉樹と、クロマツ、アカマツ、スギなどの常緑樹が混在して構成されています。

この他にも近くには、森の中の小塚山フィールドアスレチックや堀之内貝塚公園などの緑地が広がり、地域に住むみなさんの癒やしの空間となっています。



▲典型的な北総地方の自然林が残る

市内に点在する豊富な緑地

曽谷や真間、平田など、市内には約50カ所の緑地が点在しています。みなさんも市公園ガイドマップ(右記2次元コード参照)を参考に、近所でお気に入りの緑地を探してみませんか。



▶クロマツが群生する平田緑地(宮前緑地)



4年ぶり/ 第24回 江戸川・水フェスタ inいちかわ

貴重な河川空間である江戸川において、川遊びを通じて自然愛護の心を育み地域交流の輪を広げることを目的に「江戸川・水フェスタ inいちかわ」を開催します。

☎5月27日(土)午前9時～午後2時30分(荒天中止)
場 江戸川河川敷(市川緊急用船着場周辺)車での来場不可
内 Eポート(10人乗り手こぎボート)レース(参加チーム募集は締め切りました)、水上バイクやモーターボートなどの体験乗船、スタンブラリー、スーパーボールすくい、グラウンドゴルフなど
¥一部有料(1回100円～)
☎☎712-6361河川・下水道管理課



▲Eポートレースの様子